

イリピンやヴェトナムでは、国レベルでは表に示す機関が担当するが、同様の機能を有する地方レベル、県レベルでの調整委員会が存在し、災害の規模や被害の大きさによっては対応を任せている。

5. おわりに

今回のヒアリングは、台風委員会の出席者から聞き取ったものであり、国によっては気象部局に所属する人間であるため、場合によっては他省庁、他部局で行われている土砂災害対策には詳しくないこともあった。このため、ヒアリングで得られた担当機関は必ずしも網羅的にはなっていない。国によっては環境部局や森林部局が担当している部分もあるだろう。各国の更なる情報や、誤りのご指摘を頂ければ、幸いである。



暖かかったホテルのオンドル部屋



何十種類ものキムチが並ぶスーパー、手にするのは4Kg入り

世界の土砂災害 (2011 その1)

(財)砂防・地すべり技術センター 企画部国際課

2011/1/1~2011/3/31			
発生日	国名	種別	概要
2011年 1月12日	ブラジル	*崩壊・ 土石流	ブラジル南東部リオデジャネイロ州の州都リオデジャネイロ (Rio de Janeiro) から北東約100kmにある町テレスポリス (Teresopolis) で、1月11日から降り続いていた大雨により、周辺丘陵斜面の至る所で崩壊が同時多発的に発生した。土砂は、直接山すその人家を襲ったり、土石流化して集落に流れ込むなどして、周辺の同州ノバ・フリブルゴ (Nova Friburgo) やペトロポリス (Petropolis) などの被害も合わせると、合計で803名が死亡し、ブラジル史上最悪の災害となった。
1月 1~31日	フィリピン	土石流・ 崩壊	1月を通して前線が停滞し、特に5~8日、15~23日、26~31日に集中的に強い雨が降った。これにより、ルソン島南部からレイテ島、ヴィサヤ島、ミンダナオ島等で土砂災害が頻発した。レイテ島南部のセントベルナルドでは崩壊で子供3名死亡、8名が負傷、キャラガ島では崩壊で2名、土石流で2名が死亡。これらを含め全国で、土石流で3名、崩壊で6名の計9名が死亡、10名が負傷、3名が行方不明となった。その他洪水や高潮被害を含めると、75名死亡、22名行方不明、13名負傷、影響集落2200、40万世帯200万人が影響を受け、うち14万世帯68万人が避難した。
2月27日	ボリビア	地すべり	ラパス (La Paz) 南部のヴィラデラスフローレス (Valle de Las Flores) 地区で、数週間降り続いた雨により2月27日に大規模な地すべりが発生し、斜面を折り返しながら登る道路と沿道の約400軒の家が全壊した。予兆から滑動までに避難が行われたため、死者はなく、数名が軽傷を負った程度で済んだ。
3月10日	インド ネシア	土石流	スマトラ島西部のナングロ・アチェ・ダルサラム (Nangro Aceh Darussalam) 州ピディー (Pidie) 郡の山間部にあるタンセ (Tangse) 県で、3月10日夜の驟雨で土石流が発生、家屋数棟が流され、21名が死亡。
3月11日	日本	地すべり	3月11日14:46に本州の東北地方から関東北部にかけてM9.0の地震が発生し、海岸部では津波で壊滅的な被害が発生した。津波とは別に、山間部では、土石流等6件、地すべり16件、がけ崩れ75件、計97件の土砂災害が発生した。福島県白河市葉ノ木平で発生した地すべりで人家10戸が全壊し13名死亡、栃木県那須烏山市川西で発生した地すべりで2名が死亡、福島県いわき市田人町石住で発生したがけ崩れで3名死亡するなど、計19名が亡くなった。

注) 今号から掲載期間区切りを、1~3月、4~6月、7~9月、10~12月とする。*は前号にも掲載したものを。